



# S G E 五木東

平成29年7月19日(水) 学校便り



東っ子の英語学習に向かう意欲の種から、何本かの芽が出て少しずつ育ってきているようです。まずは、11月の研究発表会。どんな実がなるのかとても楽しみにしています。

さて、今学期最後を飾る第3回目のGC講座を7月14日(金)に行いました。講師は、味千ラーメンチェーン本部重光産業株式会社の国際部にお勤めの國武作好(くにたけともよし)さんです。演題は、「伝える意志 ~英語という道具~」でした。國武さんは、アジアの国々にお店を広げるため、中国に8年間滞在しておられたそうです。クイズなどを多く取り入れていただいた20分間の講演は、大盛り上がり。「はい、はい。」中には「Yes, Yes!」と元気よく手を挙げまくる子供たちに、國武さんも圧倒されていました。

ラーメンは英語でもラーメン(Ramen)。味千ラーメンのお店は世界に773店。先日8か国22人の人が集まって国際会議を開いた。

今日は、シンガポールの言葉について紹介する。人口560万人、面積719km<sup>2</sup>。面積は、五木村の約3倍である。けん玉の人気の高い国。

インド系、マレー系、中国系の人たちが一緒に生活しているので、お互いが理解しあえるような言葉が必要になった。そして生まれたのが、シングリッシュ(Singapore+English=Singlish)。

英語を使ったコミュニケーション。その時に大事なことは、言いたいことを伝えようとする気持ちである。英語を上手に話すことではない。自分が知っている英単語と英単語をつなげ、日本語を交えながら、どうにかして伝えようとする、それが一番大事である。

これからも、恥ずかしがらずに、大きな声を出して、英語の練習を頑張ってほしい。

